

Q. 4期目白石町政に主要課題を問う

A. 第4次総合計画を基本に実行します



八束 正 議員

問

1. 消防防災や環境保全を重視した、安心・安全の向上に向けた具体的な施策は。

2. 少子高齢化に対応した保健、医療、福祉体制、子育て支援体制の具体的な施策は。

3. 子供たちの育成と、生涯学習社会の形成に向けた、教育、文化環境の充実と国体後の具体的な施策は。

4. 農・商・工業への活力向上への振興と、自立した産業の育成の具体的な施策は。

5. JR貨物基地周辺の整備と町内道路整備の具体的な施策は。

6. 男女共同参画の推進や広報誌の充実、また行財政改革を継続して推進するための具体的な施策は。

答

町長

1. 消防防災を充実することが大変大事だと考えます。北黒田海岸の防波堤の整備や学校の耐震化も早急に取り組

んでいきます。またゴミの減量化に向けた取り組みも積極的に進めていきます。

2. 第5期介護保険事業計画に基づき高齢者支援ができるよう地域包括支援センターの機能強化を図ります。子育て支援では、保育サービス

の充実を強化していきます。

3. 教育施設は、安心して授業を受けられるよう耐震工事を、早めに推進します。また、町や各地域の文化祭も活性化できるように今後も支援の充実をしていきます。愛媛国体会場についても、国体後も、子どもたちから高齢者まで利用できるよう十分に考慮していきます。

4. 農業生産基盤の充実、今後も施設の改良改善の充実を推進していきます。また、産業の振興、雇用の促進に向けて、松前町の魅力をもっと積極的にPRしていきます。

5. JR貨物基地の移転に伴い、周辺の町道、水路、踏切、駅などの整備をします。また、住民の皆さんの、安全、生活環境の向上を目的に、幹線道路や生活関連道路など、地域要望を十分踏まえ整備を進めていきます。

6. 皆で力を出し合う観点からは、男女共同参画は大変重要です。これからも、女性登用など、積極的に推進していきます。行政と住民の皆さんを結ぶ広報誌も内容を充実していきます。行財政改革については、いかに歳入を増やし、歳出を削るか、職員一丸となり取り組んでいきます。



JR北伊予駅周辺貨物基地予定地

問 伊予地区清掃センターの契約期間後の対応は

平成35年で契約が終わるが、その後の清掃センターについての、考えは。

答

町長

次に施設を変える場合今の場所ではだめだと地域の方に言われています。具体的に今後のことは白紙の状態です。今出来ることは、徹底したごみの減量対策を具体的に進めることです。今後は伊予市と当町の共同施設のため、共同か、単独でいくのか、これから検討をしていきます。

問 徳丸筒井線の今後の計画は

国道56号線まで完成したが、国道から東側の取り組みは、今後具体的な計画はあるのか。

答 第二の幹線道路として考えていきます

町長

現時点では即断はできませんが、西から東への第二の幹線道路として計画したものですから、そのことを尊重しながら、考えていきます。

その他の質問

- ◎下水道整備について
- ◎町営住宅の建て替えについて
- ◎地域活性化に向けた取り組みを



徳丸筒井線国道56号線より東は？